**事業推進課**

**事業推進グループ**

**１ 「『いのち輝く未来社会』をめざすビジョン」の推進**

平成30年３月に策定した「『いのち輝く未来社会』をめざすビジョン」について、ビジョンの目標に掲げるいきいきと長く活躍できる「10歳若返り」の取組を促進するため、外部有識者に専門的な見地から意見を聴取する「10歳若返りプロジェクトアドバイザー会議」を開催した。

また、同会議の助言を踏まえ、「10歳若返り」の実現に向けて「10歳若返り」プロジェクト推進事業を実施するとともに、YouTube、Twitter、WEBサイトによる情報発信と併せて、企業、市町村、団体、庁内関係所属の協力も得ながら「10歳若返り」に資する様々な発信を行った。

（１）「10歳若返りプロジェクトアドバイザー会議」開催状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 開　催　日 | 主　な　議　題 |
| 第６回 10歳若返りプロジェクトアドバイザー会議 | 令和５年３月24日 | ・令和４年度「10歳若返り」プロジェ  クト推進事業の実施報告について  ・令和４年度「10歳若返り」発信事業  の実施報告について  ・令和４年度「10歳若返り」インター  ネットアンケート結果について  ・令和５年度に予定している「10歳若  返り」に向けた取組について |

（２）「10歳若返り」プロジェクト推進事業の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
|  | 概　要 |
| ①「10歳若返り」フェスタ | □内容  企業、アスリート、栄養の専門家によるセミナーやトークLIVE、料理体験等、食、運動、美容を切り口に、日常でのアンチエイジングにつながるイベントを実施  □実施時期  令和４年10月１日 |
| ②リアル+サイバー運動会 | □内容  AIセンシング技術を活用し、身体をコントローラーのように使うことで、子どもから高齢者まで幅広い世代が様々なバーチャルゲームや姿勢測定を体験でき、行動変容のきっかけとなるような体験イベントを実施。  □実施時期  令和４年10月22日 |
| ③ラフ＆スポーツフェスティバル2022 | □内容  運動、笑い、音楽をテーマに、自宅で実践できるストレッチ講座やダンスエクササイズ体験等、日常生活で運動に取り組むきっかけとなるような心身の健康につながる体験イベントを実施  □実施時期  令和４年11月26日 |
| ④「10歳若返り」ダンス | □内容  認知機能・身体機能向上に効果のあるダンスの連続講座を府内８会場で実施  □実施時期  令和４年９月～令和５年３月 |

**２　「大阪府市医療戦略会議提言（平成26年１月）」を踏まえた取組の推進**

府民の健康寿命の延伸と関連産業の振興をめざす７つの具体的戦略を柱とする「大阪府市医療戦略会議提言（平成26年１月）」を踏まえ、担当部局等と、戦略の具体化に向けた取組を実施した。

また、「スマートエイジング・シティ」の実現に向け、モデル的に取り組む市町村等を支援した。

**３　ホウ素中性子捕捉療法（ＢＮＣＴ）の実用化促進等**

ＢＮＣＴの医療実用化や更なる発展を促進するため、諸課題に対応するための体制を整備するとともに、情報発信などの取組を実施するための調整等を行った。

産学官連携や医療拠点と研究拠点等における国内外ネットワーク形成を図るため、関係機関と連絡調整等を行った。

**４　「大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進**

今後到来する人口減少・超高齢化社会に的確に対応し、府を取り巻く新たな動きに対応するため、令和３年３月に改訂した「第２期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取組について、「大阪府まち・ひと・しごと創生推進審議会」において具体的目標の達成状況の確認等を行うとともに、地方創生関連交付金や企業版ふるさと納税を活用するなど、着実な推進を図った。

「大阪府まち・ひと・しごと創生推進審議会」開催状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 開　催　日 | 主　な　議　題 |
| 第１回 | 令和４年８月24日 | ・第２期戦略の具体的目標の進捗状況と令和３年度事業の効果検証について  ・第２期戦略における令和４年度事業の活動指標の一部追加等 |
| 第２回 | 令和５年３月28日 | ・第２期戦略における令和５年度の主な取組と指標について  ・第２期戦略における令和４年度事業の一部内容変更について  ・デジタル田園都市国家構想について |

根拠法令：大阪府附属機関条例 （昭和27年12月22日大阪府条例第39号）

**５　関西文化学術研究都市建設の推進**

（１）関西文化学術研究都市（大阪府域）の建設に関する計画の具体化推進

昭和63年３月に策定した「建設計画」（平成21年７月一部変更）の具体化を図るため、地元市をはじめとする関係諸機関並びに庁内関係課と協議・調整を行った。

（２）関西文化学術研究都市建設推進協議会の運営

大阪、京都、奈良の府県境に位置する京阪奈丘陵の関西文化学術研究都市における構想の確立とその早期実現を図る目的で設立された関西文化学術研究都市建設推進協議会の円滑な運営を図るため、所要の分担金を負担した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 関西文化学術研究都市  建設推進協議会分担金 | 予算額 | 決算額 |
| 令和２年度 | 600千円 | 600千円 |
| 令和３年度 | 600千円 | 600千円 |
| 令和４年度 | 600千円 | 600千円 |

**６　大阪府原子炉問題審議会に関する事務**

京都大学研究用原子炉の平和利用、放射線障害の防止、原子炉損害に係る紛争解決の促進等住民福祉に関する重要事項の調査審議等を目的とする大阪府原子炉問題審議会の庶務を担当し、本審議会の円滑な運営に努めている。

令和４年度は、京都大学複合原子力科学研究所からの研究内容等の定例報告や同研究所の安全性等を議題として開催された。

○開催状況

第128回審議会 　令和４年８月10日（水）

根拠法令：大阪府附属機関条例 （昭和27年12月22日大阪府条例第39号）

**７ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取組**

新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ることを目的に、**不特定多数の人が利用する施設において、集団（クラスター）感染が発生し、濃厚接触者の把握が困難な場合に、府の求めに応じ、府による施設名の公表に同意するなど、新型コロナウイルスの集団（クラスター）感染の拡大防止に協力した事業者**に対し、協力金を支給することとしている。

根拠法令等：

・大阪府新型コロナウイルス感染症の感染の拡大の防止に係る依頼に応じ

た事業者に対する協力金の交付に関する規則

・大阪府新型コロナウイルス感染拡大防止協力金交付要綱

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 新型コロナウイルス感染症対策等  支援事業費 | 予算額 | 決算額 |
| 令和２年度 | 10,000千円 | 4,000千円 |

**※令和３年度、４年度は協力金の支給実績なし。**

**８　水資源に関する調整**

淀川水系の水資源に関する事業や課題について、国・関係機関との調整・情報共有を行った。

**９　水需給計画に関する調査**

国土交通省から委託を受けて、全国水需給動態調査を実施し、その結果を取りまとめて報告を行った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 国庫委託金 | 予算額 | 決算額 |
| 令和４年度 | 223千円 | 68千円 |

**10 「水の週間」行事**

昭和52年度から国（国土交通省）が実施している「水の週間」（毎年８月１日～７日、８月１日は「水の日」）の行事と併せて中学校等へポスター等を配付するなど、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について府民の関心を高め、理解を深めるよう努めた。

本行事の一環として実施している「全日本中学生水の作文コンクール」では、府内７校からの263編の応募に対して、地方審査及び地方表彰を行うとともに全国審査に推薦した。

**11　岬町多奈川地区多目的公園の地すべり対策**

地すべり対策調査・設計に係る負担

公園の法面で発生した地すべりの対策について、岬町と締結した協定に基づき、公園管理者である岬町が、国の災害査定を受けるために実施する調査・設計に係る費用の一部を負担した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 負担金 | 予算額 | 決算額 |
| 令和４年度 | 19,712千円 | 13,072千円 |

**12　土地利用等調整協議会の運営等**

府の総合的な土地利用に関する計画又は大規模な開発事業に係る調整及び基幹的施設の整備に関する計画について、全庁的に協議・調整し、府域全体の土地利用の適正化を図るため、昭和41年11月に設置した土地利用等調整協議会の運営を行った。